

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域で子どもを育てる元気づくり
事業主体 (連絡先)	岡谷市岡谷区 (0266-22-2603)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	791,229円 (うち支援金: 578,000円)

事業内容

- ・公会所内に居場所を作り、子どもが気軽に常に立ち寄れる場所を確保して、宿題を行ったり、図書を読んだり出来る場所を作った
- ・体験型事業を子どもセンターに120名余りの子どもを対象に据えて、年間で11テーマの体験事業を行った
- ・スタートは参加者への認識が少なかったため、子ども会育成会との協力連携を求めて進めてきた
- ・地域サポーターの募集により図書の読み聞かせや体験事業への参画を広げ、未就学児も含めて楽しめる内容や、夏休みには、計画外で特別企画のコカリナ作りなど、子どもたちに興味のある内容を考えて進めた



【子どもソバ打ち体験】

【目標・ねらい】

- ①地域で子どもを守り育てる
- ②子どもの立ち寄れる居場所作り
- ③親子の繋がりを強める体験事業
- ④人間性豊かな子どもの育成と伝統文化を伝える

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・事業をサポートする大人(サポーター)は延べでは目標の220人を何とか達成出来たが、事業により波があるため学校や地域の行事に配慮が必要と感じた
- ・子どもの居場所としての子ども元気ルームは、連日子どもたちが訪れて目標とした1日5~10名は達成出来た一方で、区の理事者が対応する場面も多く子どもの居場所での繋がりが多くなった(雪かき協力等)
- ・各事業の参加者総数は239名と当初260名目標には少し届かなかったが、子ども会育成会を巻き込み、事業の内容について意見をもらうことや、2年次は育成会の役員2名をサポート委員会に加えることができた

※自己評価【C】

【理由】

居場所は出来たが、協力サポーターの活用面に工夫が足りなかった総じて目標とした事業での参加者が計画より少なく改善が必要

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・子ども元気ルームの利用面の向上(部屋の環境面を改善して利用者に喜ばれる工夫をする)
- ・子どもの躰(挨拶)にも気を配り、協同の心で部屋の運営に協力してもらう
- ・事業内容は、興味を抱くように工夫して案内を作成したり、カラー化を促進してニュースや写真等も掲示して楽しさを伝えて参加者を増やすように取り組む

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある